

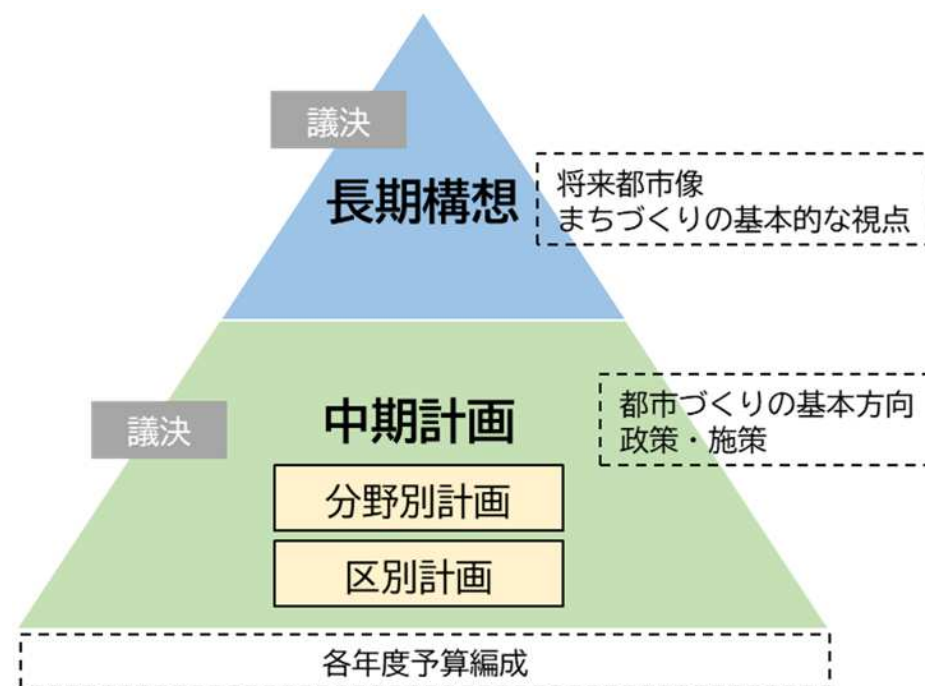
令和 7 年度第 2 回岡山市基本政策審議会 資料

令和 7 年 8 月 1 日

岡山市

長期構想の構成（目次）

- I. 策定にあたって
- II. 長期構想の目的・期間
- III. 岡山市の強みと特性
- IV. 時代潮流と課題認識
- V. 将来都市像
- VI. まちづくりの基本的な視点



I. 策定にあたって

時代の変化や市民ニーズを的確に捉え、多様化・複雑化するさまざまな課題に適切に対応し、岡山市がめざす理想のまちの姿を実現するため、市民をはじめ多様な主体との協働のもと、まちの将来像を共有し、諸課題の解決に向けて、ともに考え、行動するための羅針盤として、新たな総合計画を策定する。

II. 長期構想の目的・期間

- ・ 目的：岡山市の目指す「将来都市像」とそれを実現するための「まちづくりの基本的な視点」を定める。
- ・ 期間：令和8年度から令和17年度までの10年間とする。
- ・ 構成：前期中期計画（令和8年度から令和12年度までの5年間）、後期中期計画（令和13年度から令和17年度までの5年間）を策定する。

Ⅲ. 岡山市の強みと特性

1. 高次の機能集積、中四国の交通のクロスポイント

- ・ 高次の都市機能の集積、中枢拠点性の高まり
- ・ 中四国地方の学術・研究の拠点都市
- ・ 中四国のクロスポイント、広域拠点性
- ・ 大規模な物流拠点の適地 等

2. 災害が少なく温暖な気候と豊かな自然環境、豊富な医療・介護資源

- ・ 恵まれた気候、自然災害が少ない都市
- ・ 多様な自然環境
- ・ 医療機関の集積 等

3. 先人から引き継ぐ固有の歴史・伝統・文化

- ・ 古代吉備の繁栄を現代に伝える造山古墳をはじめとした大型古墳
- ・ 宇喜多、小早川、池田の3家にわたり築かれた岡山城と城下町
- ・ 優れた土木技術を今に伝える岡山後楽園の築庭、百間川の治水、児島湾干拓など
- ・ 大廻小廻山城跡、万富東大寺瓦窯跡など指定都市では2番目に多い国指定史跡 等

4. 第3次産業中心の産業構造と全国有数の農業都市

- ・ 第3次産業の事業所が多く立地する圏域の経済活動の中心
- ・ 恵まれた気候と豊かな自然をいかした多彩で質の高い農産物 等

5. 活発な地域活動、世界をリードするESDの取組

- ・ 日本初の本格的な孤児院の開設、今日の民生委員制度のモデルとなった大正時代の岡山県済世顧問制度の創設など、全国に先駆けた歴史
- ・ 町内会をはじめとする地縁組織やNPO法人等の活発な活動
- ・ ESD、SDGsの取組に対する国内外からの高い評価 等

IV. 時代潮流と課題認識

（１）時代の変化や要請

1. 少子高齢化・人口減少の加速

- ・日本及び岡山市の人口の現状
- ・人口減少の緩和と人口減少社会に適応した経済社会システムへの転換
- ・多様な要素に溢れる質の高い都市環境の形成
- ・大都市圏への人口流出を防ぐダム機能の発揮 等

2. 暮らしの質的向上・多様性への関心の高まり

- ・「ウェルビーイング」への関心の高まり
- ・新たなつながりの構築や、多様な価値の創出
- ・SDGsの根幹である「誰一人取り残さない」社会の実現を目指した包摂的で多様性に富んだ地域社会の実現
- ・地域コミュニティにおける、ゆるやかなつながりを通じた安心感や信頼感の醸成 等

3. デジタル技術の急速な進展

- ・IoTやAI等のデジタル技術の急速な進展と有効活用及び実装を担う人材育成
- ・産学官連携や業種間連携によるイノベーションの共創
- ・スピード感を持ったデジタル化の推進 等

4. グローバル化の進展

- ・国際経済情勢の不確実性の高まり、経済安全保障への対応
- ・インバウンドのニーズ変化への対応と広域周遊の促進
- ・多文化共生の推進
- ・国内外での岡山市のプレゼンスの向上 等

5. 持続可能な環境の保全

- ・気候変動や生物多様性の損失等の地球環境の悪化
- ・世界各国における脱炭素と産業競争力の両立を目指すGXの実現に向けた動き
- ・2050年温室効果ガス排出実質ゼロの目標達成に向けた各種取組の推進
- ・ESDやSDGsに関連する活動の蓄積をいかした持続可能な社会の構築 等

6. 大規模自然災害への対応

- ・近年の急激な気候変動による風水害の激甚化
- ・南海トラフ巨大地震発生の切迫性の高まり
- ・来るべき災害に備えたハード・ソフト両面から総合的な防災・減災対策の一層の推進
- ・道路や橋梁、上下水道等のインフラの戦略的な老朽化対策 等

（２）市民の課題認識

世代を超えたつながりの醸成、「岡山にしかない魅力」の再認識

- ・地域資源をいかして地元を盛り上げたいという積極的な活動への熱意の高まり等、まちへの愛着や誇りのさらなる醸成につながる動き
- ・つながりや世代を超えた交流を求める声、まちへの誇りを持つことの重要性に対する認識の高まり
- ・「岡山にしかない魅力」の共創、発信 等

V. 将来都市像

キーワード

つながる力 未来 創造 心豊かな 新しい価値
選ばれる 愛着 誇り 憧れ 桃太郎

◆「つながる力」で新しい価値を創る

- これからのまちづくりに求められるのは「つながる力」。まちや地域の力、経済の力、人の力をつなぎ高めることにより、これまで築き上げてきた岡山市の暮らしやすさやまちの活力を着実にステップアップさせ、未来に向けて岡山市を次のステージへ
- 中四国をつなぐ瀬戸内の中核拠点都市として圏域の成長をリードしつつ、歴史、文化、芸術、スポーツ等が持つ力をいかして世代や地域を超えたつながりを深めることにより、多様な人材が集い、交流する中で、それぞれの知恵や経験、思いや情熱を交差させ岡山市の新しい価値を創造
- 過去から今日まで連綿と紡がれてきた「岡山にしかない魅力」を再認識し、磨き上げ、積極的に発信
- まちの主役である市民と目指すまちの姿を共有し、その実現に向けて協働・共創による取組を推進

◆一人ひとりが心豊かに暮らせるまちづくり

- 岡山に生まれ、育ち、学び、働き、活動する一人ひとりが、その人らしく生きるための選択肢が用意され、互いに多様な価値を尊重し、支え合う中で、誰もが希望や夢の実現に向かって取り組むことのできる、心豊かに暮らせる「人中心」のまちづくりを推進

◆国内外から選ばれる「憧れ」のまちへ

- 岡山市の総合力を一層高め、魅力と活力に溢れ、誰もが幸せを実感しながら安心して暮らせるまちを実現。国内外でのプレゼンスの向上を通して、まちへの「愛着」を深め、住み続けることへの「誇り」を高める
- このような岡山市の姿が、新たな求心力となり、市外からさらに多くの人や企業を惹きつけ、呼び込む好循環を創出し、国内外から選ばれる「憧れのまち」を目指す

VI. まちづくりの基本的な視点

○「暮らしの質の向上」と「都市の成長・活力の創出」の二本の柱の好循環を生み出しながら、これらの基盤となる「安全・安心」を充実させることにより、市民の「愛着と誇り」を高め、未来に向けて進化し続けるまちづくりを推進

視点1：暮らしの質の向上

- あらゆる世代の市民が一人ひとりの違いを認め合い、互いの権利や考え方を尊重しながら共生し、それぞれのライフステージにおける希望を叶える
- 教育・文化・医療等の都市機能の充実や、子育てと仕事の両立がしやすい環境など、「住みやすいまち」としての魅力をさらに高め、市民誰もが心豊かにいきいきと暮らせるまちへ
- 未来を担うこどもたちが将来に夢と希望を持って健やかに育つよう、こどもの権利を尊重しながら、社会全体で支える
- 若者、女性が自らの望むライフプランを実現し、未来に希望をもって暮らし、働き、活躍でき、幸せを実感できる地域社会づくり
- 人生100年時代を迎える中、誰もが生涯にわたる学びを重ね、住み慣れた地域で支え合いながら、健康にその人らしく暮らせるまちへ



視点2：都市の成長、活力の創出

- 人口減少に伴う経済規模の縮小が見込まれる中でも、まちの「稼ぐ」力を一層高め、経済を持続的に成長させ、圏域全体の活力を創出
- 市内事業者の付加価値向上の促進や賃上げへの後押し等により、収益向上と消費の拡大による地域経済の好循環を創出し、さらなる成長に繋げる。
- 国内外から人や企業を呼び込み、様々な交流を進める中で国際的なプレゼンスを向上
- まちなかでは、高次都市機能の充実や歴史、文化、芸術、スポーツ、緑と水等の魅力を高め、賑わいの創出を進めつつ、観光・MICE、ビジネス等を通じた交流を活性化させ、都市の成長をけん引。
- 各地域では、自然や食、農林水産物、歴史・伝統・文化など、独自の価値を市民とともに磨き上げ発信し、地域の活力を創出
- 地域とまちなかとの結びつきを強め、人・もの・情報の双方向の流れを活性化し、地域とまちなかのバランスのとれた発展に意を用いながら、それぞれの賑わいや魅力を岡山市全域へと波及

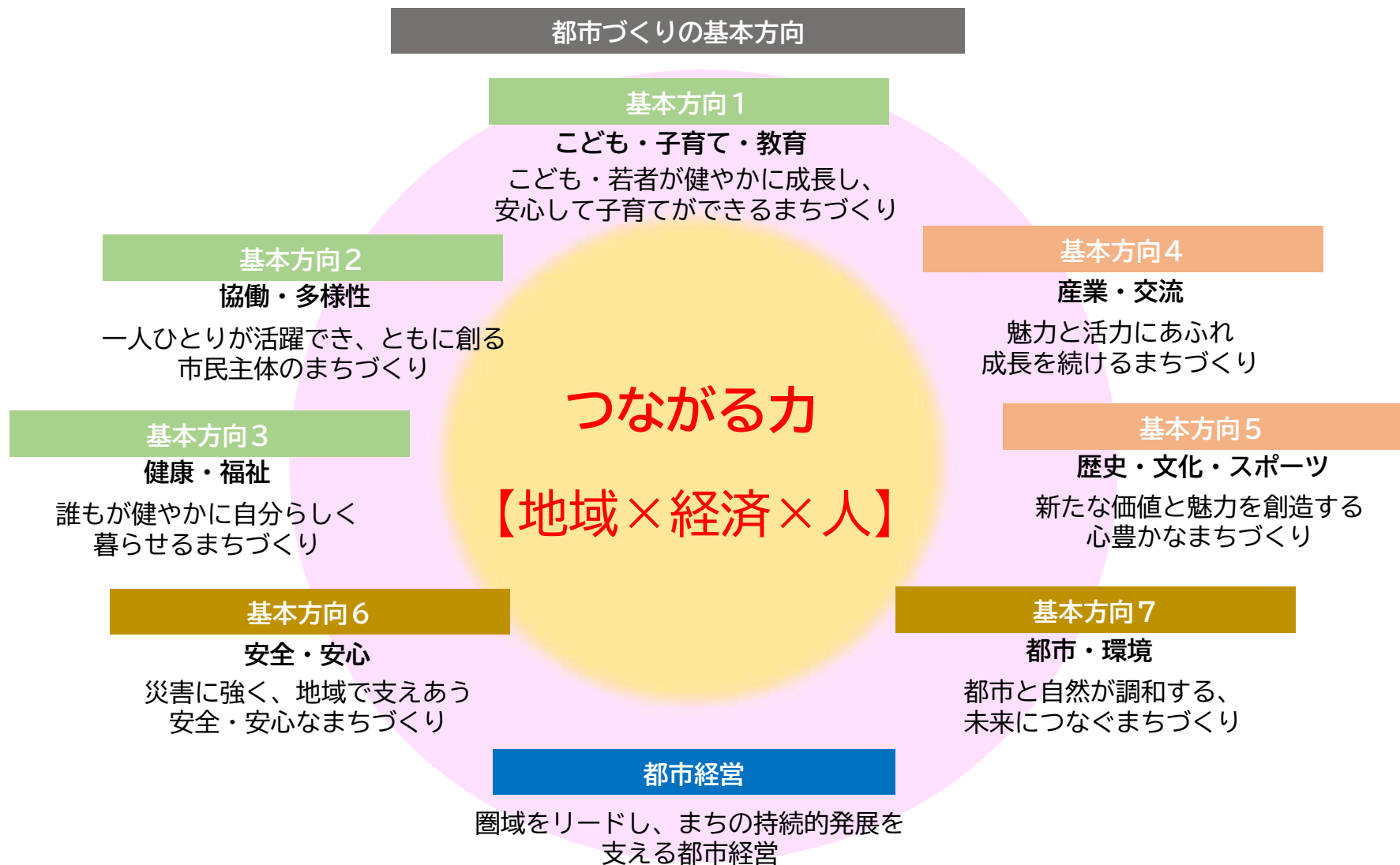
視点3：安全・安心の充実

- まちづくりの土台となる「安全・安心」を充実させつつ、豊かな自然環境と質の高い都市機能のどちらも享受できる都市特性を高めることにより、市民が日常生活の中で安らぎを感じながら、心豊かに暮らせるまちへ
- 自然災害への備えに万全を期すため、一人ひとりの防災意識と共助による対応力を高めつつ、都市基盤の計画的な整備・更新等を推進。地域のつながる力を高め、暮らしの安全・安心を確保
- 市民の暮らしを支える拠点の形成や交通ネットワークの充実、景観の保全・活用や身近な生活環境の改善等を通して、安全で快適・便利に暮らせるまちへ
- 自然との共生や脱炭素化、循環型社会の構築に向けた取組を地域社会全体で実践し、自然環境と調和した豊かな暮らしを次世代に継承

視点4：愛着・誇りの醸成

- 幸福度の高い暮らしとまちの更なる活性化を両立させ、未来に向けて進化し続けるまちづくりを進めるため、様々な主体がまちづくりに関わり、ともに考え、ともに行動しながら取組を推進
- 取組を進める中で、それぞれの地域や岡山のまち全体の特性・個性への理解を深め、互いに共有し、これらを「まちの魅力」として積極的に発信することにより、市民の岡山への愛着と誇りの醸成に繋げる
- こどもの頃から岡山の豊かな自然や固有の歴史・文化を学び親しむことにより、地域を知り、地域を大切に思う心を育成
- 歴史・文化、スポーツ等が持つ「つながる力」をいかし、様々な交流・連携を深め、まちの活性化や一体感の醸成に繋げる
- 市民一人ひとりの自分のまちへの関心が、地域づくり活動の活性化へとつながり、まちの魅力やまちへの愛着・誇りが高まることにより、岡山市が他地域からも注目され、さらに多くの人や企業に選ばれるまちへ

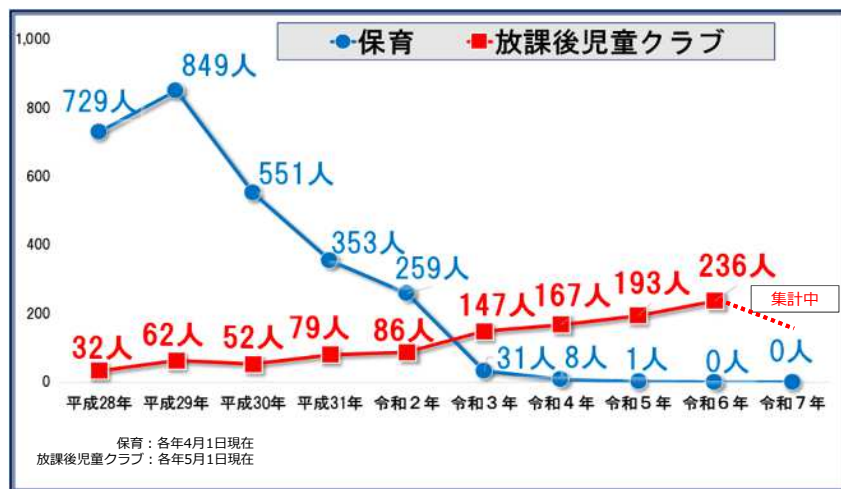
将来都市像	【キーワード】つながる力、未来、創造、心豊かな、新しい価値、選ばれる、愛着、誇り、憧れ、桃太郎			
まちづくりの基本的な視点	視点1 「暮らしの質の向上」	視点2 「都市の成長・活力の創出」	視点3 「安全・安心の充実」	視点4 「愛着と誇りの醸成」



基本方向 1 こども・若者が健やかに成長し、安心して子育てができるまちづくり（こども・子育て・教育）

- こどもや家庭を取り巻く環境は、共働き世帯の増加や核家族化、地域社会のつながりの希薄化などにより、大きく変化しています。また、こども・若者をめぐっては、いじめや児童虐待、貧困など、依然として多くの課題があります。全てのこども・若者が健やかに成長し、将来にわたり幸福に暮らせるよう、こども・若者の権利を尊重しながら、社会全体で成長・自立を支えていきます。
- 保育の待機児童解消や子ども医療費助成の拡充など、これまでの子育て環境の充実に向けた歩みを止めることなく、妊娠期からの切れ目ない健康づくりへの支援や子育ての負担感や不安感を和らげる支援、放課後児童クラブの待機児童対策等の共働き・共育での推進などを通して、希望する誰もが安心してこどもを生み育てることができる環境づくりを進めます。
- 予測が困難で変化が激しい時代において、子どもたち一人ひとりが自己の可能性を切り拓き、他者と協働しながら、自らが持続可能な社会の創り手として自他の幸せを創造できる「自立する子ども」を育成することが求められます。子どもたちの安全・安心な環境における多様で質の高い学びの機会を確実に提供し、「知・徳・体」の調和を図りつつ、それぞれの立場で主体的に社会に貢献する態度を育成します。
- 生きがいづくりや学びなおしなど生涯学習ニーズが多様化・高度化し、また、地域のつながりの希薄化や担い手不足が課題となる中、一人ひとりの豊かで幸せな人生と地域社会の持続的な発展の実現に向け、子どもから高齢者まで生涯にわたる学びを通じた自己実現を支援しつつ、共に学び合い、地域の当事者として地域や社会に貢献する意欲を醸成します。

待機児童数推移



資料：岡山市担当課調べ

全国学力・学習状況調査の偏差値

		H28	R1	R3	R5	R7
小学校	国語	50	51	50	50	50
	算数	50	50	50	50	50
中学校	国語	48	50	50	50	50
	数学	48	50	50	51	50

資料：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

基本方向	1 こども・若者が健やかに成長し、安心して子育てができるまちづくり（こども・子育て・教育）
-------------	--

政策1 こども・若者の権利の尊重と、成長・自立の支援（こども・若者）

施策① こども・若者の権利の尊重	・こども・若者の権利の理解促進 ・こども・若者の意見聴取の取組の推進
施策② こどもが安全で健やかに育つことができる環境づくり	・こどもの安全・安心な居場所づくり ・こどもの学びと育ちのための支援
施策③ 若者の成長と未来のための支援	・若者の成長を支えるための支援 ・若者のライフプランの希望をかなえるための支援
施策④ 困難を抱えるこども・若者やその家庭への支援	・児童虐待の防止とこどもの貧困対策 ・ヤングケアラー、障害児、不登校等への支援

政策2 安心してこどもを生み育てることができる環境づくり（子育て）

施策① 妊娠期からの切れ目ない健康づくりへの支援	・伴走型の相談支援体制の充実 ・乳幼児の健康を支えるための支援
施策② 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援	・子育ての負担感・不安感軽減と孤立の防止 ・子育てに要する経済的負担の軽減
施策③ 共働き・共育ての推進	・就学前教育・保育と放課後児童クラブの充実 ・仕事と子育ての両立支援

基本方向 1 こども・若者が健やかに成長し、安心して子育てができるまちづくり（こども・子育て・教育）

政策3 知・徳・体の調和のとれた自立に向かって成長する子どもの育成（学校教育）

施策① 確かな学力を育む教育活動の推進	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ・各種調査結果を踏まえた授業改善の推進
施策② 主体性を育む特色ある教育の推進	・ESDに係る地域と連携した取組の推進 ・地域の企業・団体と連携したキャリア教育の充実
施策③ 健やかな体を育む健康・安全教育の推進	・運動の習慣化に向けた取組の普及促進 ・専門家等と連携した保健管理・保健教育の充実
施策④ 豊かな人間性、社会性を育む教育活動の推進	・道德教育推進教師を中心とした道德教育の充実 ・中・長期的な視点での計画的な質問紙調査（ASSESS）の活用
施策⑤ 多様な教育ニーズを踏まえた支援の充実	・不登校や障害に対する専門的なアセスメントの充実 ・多様なニーズに組織的に対応できる校内支援体制の構築

政策4 教育を支える基盤整備及び教育DXの推進（教育環境）

施策① 学校園の指導体制の充実	・新たな教育センターによる研修機能の強化、研修内容の改善 ・魅力ある教員の確保・指導・支援体制の充実
施策② 教育DXによる学習指導の充実及び働き方改革の推進	・ICT活用に関する教員の資質能力の向上 ・業務改革・改善による教職員の負担軽減・働きやすさの向上
施策③ 安全・安心で快適な教育環境の整備	・中学校体育館への空調設備の整備 ・学校施設の老朽化対策や教育環境の質的改善による再生整備と予防保全
施策④ 広報活動と当事者からの意見聴取の充実による教育の推進	・様々な媒体を活用した情報発信の強化 ・アンケート調査等による教育の改善

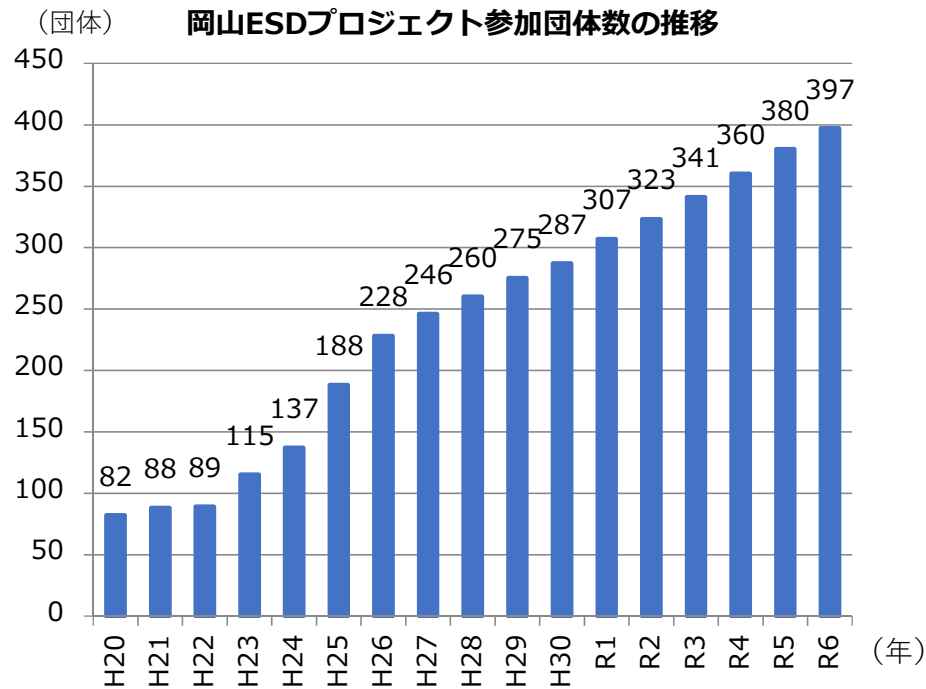
政策5 共に学び、つながる社会教育の推進と、生涯にわたる学びの充実（生涯学習）

施策① 家庭・地域の教育力向上に向けた社会教育の推進	・地域協働学校（コミュニティスクール）と地域学校協働活動の一体的推進 ・地域コミュニティの活性化と担い手づくりの支援
施策② 社会教育施設の機能強化	・社会教育施設の計画的な長寿命化の推進 ・デジタル技術を活用した図書館サービスのさらなる利便性の向上

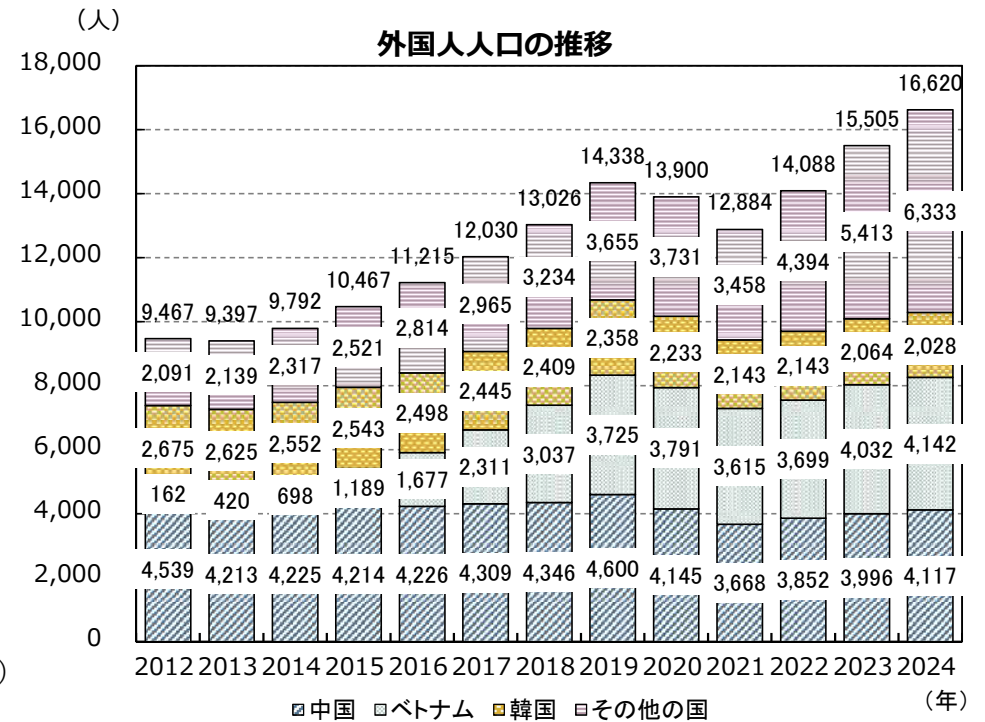
基本方向

2 一人ひとりが活躍でき、ともに創る市民主体のまちづくり（協働・多様性）

- 地域課題が複雑・多様化し、地域活動の担い手不足が顕在化する中、ESDの推進やSDGsの目標達成に向けた実践活動を促進しつつ、行政・地域住民・NPO・企業や大学等の多様な主体がつながる場を創出します。そして、それぞれの特性と強みをいかした協働による取組を推進することにより、持続可能な社会づくりを進めます。
- グローバル化の進展により国際交流の機会のさらなる増加が見込まれる中、これまでに培ってきた海外諸都市とのつながりを強化し、国外への効果的な情報発信やプレゼンスの向上に資する取組を進めます。また、国際交流の機会を通じてまちの魅力と活力を高め、市民のグローバルマインドの醸成のほか、外国人に選ばれ誰もが活躍できる多文化共生の地域社会づくりを進めます。
- 社会の成熟化と多様化が進む中、年齢や性別、性的指向、国籍、障害の有無等によって差別や偏見を受けることなく、誰もが個人として等しく尊重され自分らしく活躍できる、包摂的で多様性に富んだ地域社会の実現が求められています。社会全体で人権を尊重しあう意識を高揚し、男女共同参画の推進や平和を大切にする意識の醸成を図ることにより、多様性を認め平和を願う人権尊重のまちづくりを進めます。



資料：岡山市担当課調べ



資料：住民基本台帳人口

基本方向

2 一人ひとりが活躍でき、ともに創る市民主体のまちづくり（協働・多様性）

政策6 多様な主体による協働のまちづくり（協働・ESD）

施策① SDGs達成に向けたESDの推進	・岡山ESD推進協議会への支援 ・SDGs・ESDの取組を実践する人材の育成
施策② 地域における主体的な活動の促進	・若者など地域活動の担い手育成と多様な主体のつながりの場の創出 ・地域や町内会活動におけるデジタルツールの活用
施策③ 多様な主体による協働の推進	・ESD・市民協働推進センターによる相談支援 ・「つながる協働ひろば」による情報発信の強化
施策④ 特色ある区づくりの推進	・区の新たな魅力の掘り起こし ・区の地域資源や特性をいかしたまちづくり

政策7 未来を拓く国際交流と多文化共生のまちづくり（国際）

施策① 魅力を高め活力を生み出す国際交流とグローバルマインドの醸成	・海外諸都市とのつながり強化、連携・協働による効果的な情報発信 ・グローバル化の進展に対応した英語力の育成
施策② 誰もが活躍できる多文化共生の地域づくり	・地域経済を支える外国人に選ばれるまちづくり ・地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

政策8 多様性を認め平和を願う人権尊重社会の実現（人権・男女共同参画）

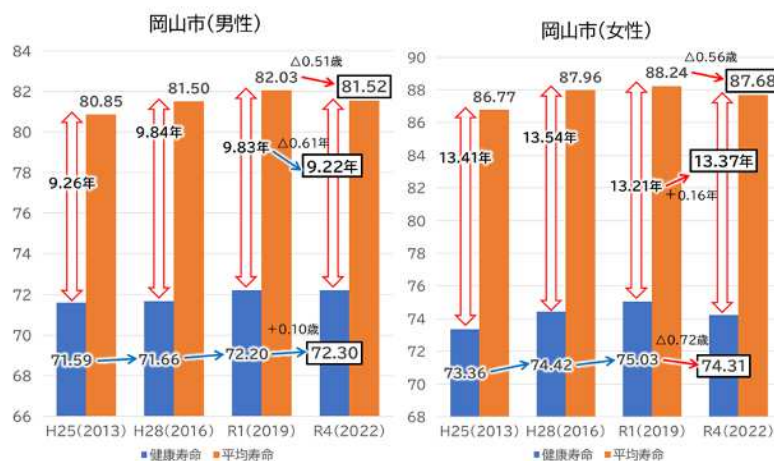
施策① 多様性を認める社会づくり	・パートナーシップ宣誓制度の更なる周知やサービスの拡充 ・LGBTQやハラスメントなど人権課題に対応した啓発・研修の充実
施策② 男女共同参画の推進	・固定的な性別役割分担等の解消に向けた周知啓発 ・困難な問題を抱える女性への支援の充実
施策③ 平和を大切にする意識の醸成	・戦争・戦災体験や平和への思いの次世代への継承 ・戦争・戦災資料の適切な保存・管理

基本方向

3 ともに支え合い、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり（健康・福祉）

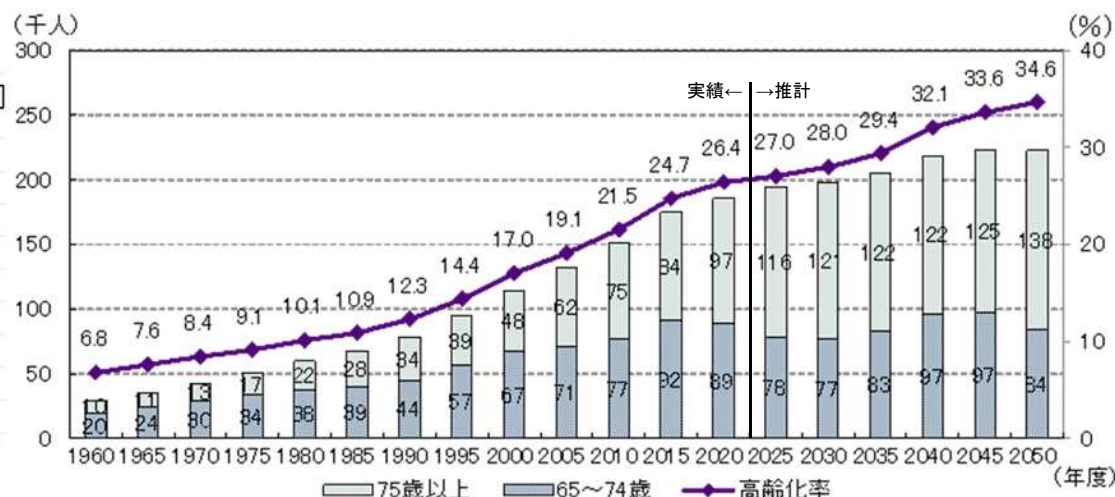
- 市民の健康に対する意識が年々高まる中、運動、栄養・食生活、社会参加を三本柱に、世代間の交流や、企業や教育機関などの多様な主体との連携を強化し、誰もが自然に健康になれる社会環境づくりを進めます。また、高齢者の就労、社会参加の促進による生涯現役社会づくりや介護予防の推進等に取り組みます。
- 孤独・孤立や8050問題、ヤングケアラーなど、生活課題が複雑化・複合化する中、地域で課題を抱えている人を孤立させず、適切な支援に繋ぐため、分野横断的なネットワークが張り巡らされた地域共生社会づくりを進めます。また、障害者、高齢者はもとより、誰もが自分らしく安心・快適に暮らせるユニバーサル社会の構築をハードとソフトの両面から進めます。
- 2025年に全ての団塊の世代が後期高齢者となり、高齢化率の上昇や高齢者単身世帯の増加が続く中、支え合いの地域づくりや、豊富な医療・介護資源をいかした在宅医療・介護の推進、認知症対策の推進などを通して、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

健康寿命の推移



資料：「厚生労働行政推進調査事業費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）分担研究報告書」から引用

高齢者数及び高齢化率の推移と推計



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

基本方向

3 ともに支え合い、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり（健康・福祉）

政策9 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり（健康）

施策① 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進	- 健康意識の向上 - 自然に健康になれる社会環境の整備
施策② いきいきと活躍できる生涯現役社会づくり	高齢者の就労、社会参加の促進
施策③ 介護予防の推進	- 高齢者の健康づくりの推進 - フレイルに関する知識、予防の必要性についての周知啓発
施策④ 感染症対策	- 保健所の受援体制整備、外部機関等との円滑な協力関係の構築 - 地域全体の感染症対応力向上

政策10 ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の推進（福祉）

施策① 重層的なセーフティネットの構築	- 多機関の協働による包括的支援 - 生活困窮者、生活保護受給者への切れ目のない一体的な支援
施策② 地域福祉の推進	支援を必要とする人を地域で支えるための体制の構築
施策③ 障害者の自立支援と社会参加の促進	- 障害者の相談支援体制の充実 - 障害者の自立と社会参加のための支援
施策④ ユニバーサルデザインの推進	- 施設、道路等のバリアフリー化の推進 - ユニバーサルデザインについての理解の促進

政策11 豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり（医療・介護）

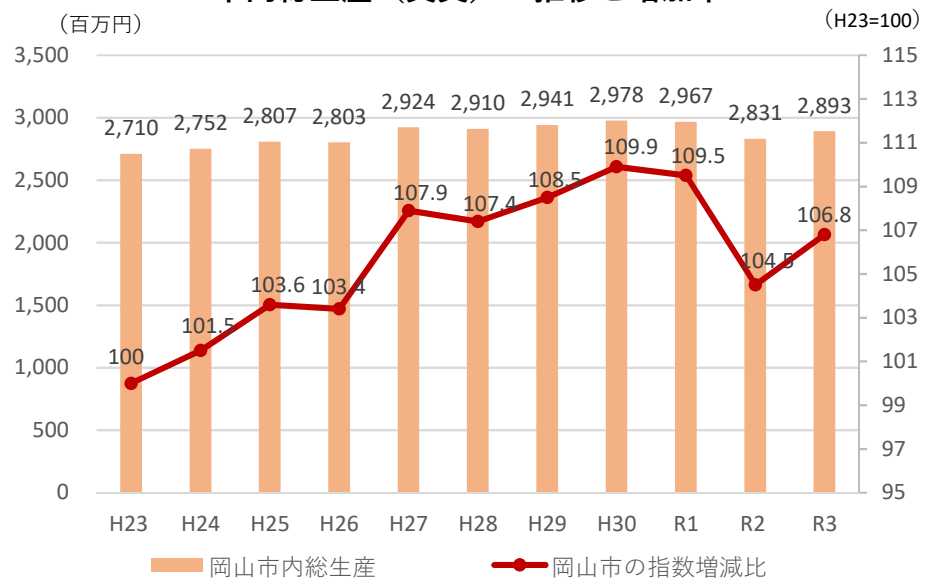
施策① 支え合いの地域づくり	- 課題を抱えた高齢者への相談支援体制の強化 - 地域の支え合い活動の促進
施策② 在宅医療・介護の推進	- 在宅医療・介護の普及啓発や人材育成、職種間の連携強化 - 高齢者の社会参加の推進
施策③ 認知症対策の推進	- 認知症サポーター養成講座の受講促進 - 介護に対する相談体制の充実
施策④ 持続可能な保険制度の運営	- 健全な国民健康保険財政の推進 - 適正な要介護認定、適切な介護サービスの提供

基本方向

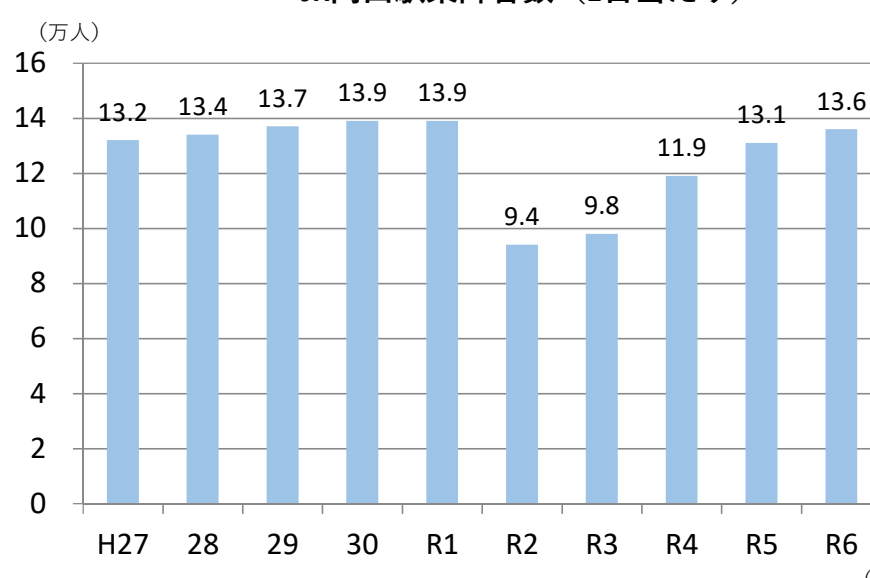
4 魅力と活力にあふれ成長を続けるまちづくり（産業・交流）

- 人口減少下でも地域経済を持続的に成長させるためには、市内企業の生産性や競争力を高めつつ、物価高騰対策や賃上げの定着等、激変する事業環境への対応を支援する必要があります。新たな価値を生み出すイノベーションの創出や、事業成長支援と経営安定化の促進、拠点性をいかした企業立地の推進等を通して産業を振興し、地域経済の活性化を促進します。
- 農業生産者が減少する中、生産性向上と持続可能性を両立できる農林水産業を振興するため、担い手確保や経営の安定化、生産基盤の確保・整備に加え、食と農の魅力発信による販路拡大や環境負荷低減策等を進めます。また、安全・安心な生鮮食料品等の安定供給のため、市場施設の最適化や活性化など、長期的な視点に立った市場経営を行います。
- 岡山城や日本遺産等の歴史・文化遺産の磨き上げと体験型コンテンツの造成・発信、ターゲットを絞ったMICE誘致の強化等を通して、岡山市の認知度・魅力度を高め、新たな来訪客やリピート客を獲得します。併せて、首都圏・関西圏等からまちを支える人材の移住を促進し、国内外から多くの人を引き寄せる観光・交流のまちづくりを進めます。
- 中四国のゲートウェイである岡山のまちなかは、市内のみならず圏域全体の発展をけん引する役割を担っていることから、国内外から様々な人が集い・交流する高次都市機能の充実・強化を図るとともに、居心地が良く快適で歩きたくなる都市空間の創出や、利便性の高い移動環境の整備を進め、さらなる魅力・賑わいの創出と回遊性の向上を進めます。
- 中山間地域をはじめとする各地域において、固有の魅力をいかして活力があり持続可能な地域づくりを進めます。地域の経済活性化、歴史・文化の継承、生活サービスの維持・向上の3つの視点のもと、多様な担い手の参画と協働を得ながら、地域の活性化と課題解決に向けて取り組みます。

市内総生産（実質）の推移と増加率



JR岡山駅乗降客数（1日当たり）



基本方向

4 魅力と活力にあふれ成長を続けるまちづくり（産業・交流）

政策12 地域経済の活性化を促進する産業の振興（産業）

施策① 新たな価値を生み出すイノベーション創出の促進	・スタートアップ成長支援 ・新規事業の創出支援
施策② 地域経済の持続的な発展に向けた事業成長の支援	・生産性向上のための設備投資やデジタル化支援 ・新たな市場開拓や拡大のための支援
施策③ 安定した経営を可能にする事業環境の整備	・円滑な事業承継に向けた支援 ・市内企業の人材確保支援
施策④ 拠点性をいかした企業立地の推進	・工場、物流施設、本社・中四国支店等の立地推進

政策13 多彩で魅力ある持続可能な農林水産業の振興（農林水産業）

施策① 担い手の確保・育成と所得向上	・新規就農サポートと多様な人材活用の推進 ・スマート農業などによる生産性向上や経営規模拡大等の支援
施策② 生産基盤の確保・整備と農村振興	・優良農地の確保や水利施設等の生産基盤の整備・保全 ・地域農業の共同活動への支援や有害鳥獣対策
施策③ 食と農の魅力発信	・都市と農村との交流施設の利用促進 ・販路拡大やブランド力強化に向けた支援と地産地消の推進
施策④ 環境に配慮した農林水産業の推進	・環境にやさしい農業の推進 ・森林と漁場の適切な管理と保全
施策⑤ 安全・安心な生鮮食料品等の安定供給	・生鮮食料品等の安定供給を支える持続的な市場経営 ・市場の認知度向上と市場利用者の増加のための情報発信

政策14 国内外の人を引き寄せる観光・交流の推進（観光・交流）

施策① 広域的な観光・インバウンドの推進	・観光資源の魅力アップ ・市の強みをいかしたインバウンドの推進
施策② 産学官連携によるMICEの誘致	・ターゲットを絞ったMICE誘致
施策③ 都市ブランドを活かした観光プロモーションの推進	・オリジナリティあるプロモーションの展開
施策④ まちを支える人材の移住・定住促進	・東京・大阪での就職支援を主とした相談窓口の運営 ・移住支援専用ウェブサイトやSNSでの情報発信

基本方向

4 魅力と活力にあふれ成長を続けるまちづくり（産業・交流）

政策15 魅力と賑わいのあるまちなかの創出（まちなか）

施策① 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

- ・岡山城西の丸周辺広場や大供公園等の整備
- ・官民が連携した公共空間の利活用による魅力向上

施策② 賑わいをつなぐ回遊性の向上

- ・公共交通の利便性向上
- ・自転車の利活用による回遊性の向上

施策③ 高次都市機能の充実・強化

- ・高次都市機能の充実・強化
- ・市街地再開発事業の促進

政策16 特色をいかした活力ある地域づくり（地域振興）

施策① 地域の経済活性化

- ・農業振興、観光誘客や企業立地等の促進
- ・道路ネットワークの充実・強化

施策② 地域の歴史・文化の継承

- ・歴史を活かした魅力づくり
- ・史跡・文化財の保存・活用・発信

施策③ 地域の生活サービスの維持・向上

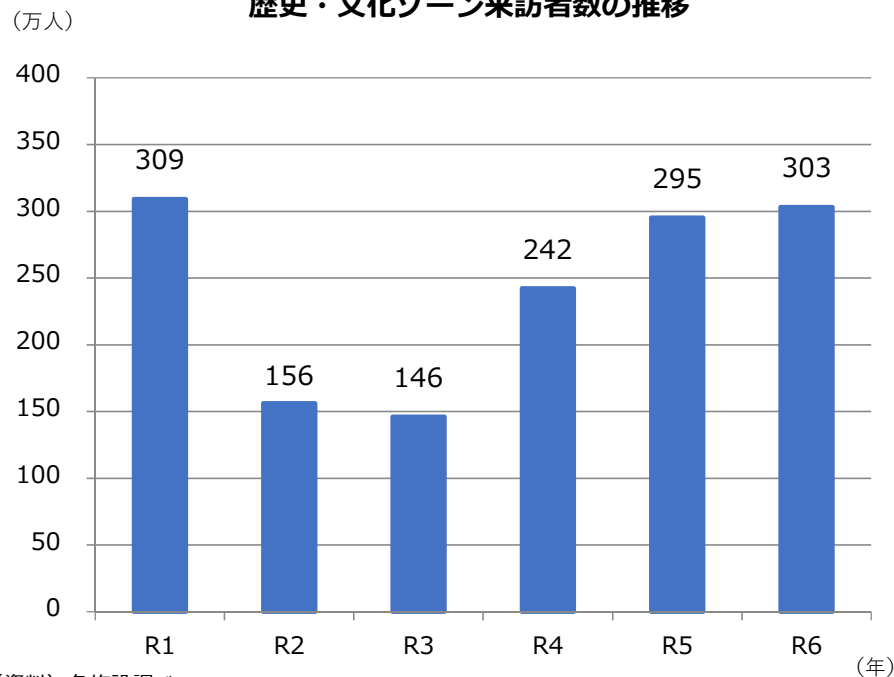
- ・公共交通の維持・拡充
- ・地域活動支援

基本方向

5 新たな価値と魅力を創造する心豊かなまちづくり（歴史・文化・スポーツ）

- 岡山城や岡山後楽園をはじめとする岡山市固有の歴史・文化遺産に子どもから学び親しむ機会を提供するとともに、新たな魅力を掘り起こし、磨き上げ、国内外へ積極的に発信することにより、岡山への来訪者の増加や様々な交流による地域の活性化に繋げ、市民が誇りと愛着を持てるまちづくりを進めます。
- 文化芸術施設を核として多様な主体と連携・交流しながら、身近な地域で幅広い分野の文化芸術の鑑賞や体験ができる機会の充実を図るとともに、市民の自主的・創造的な文化活動を促進するため、活動の成果を発表する機会の充実に努め、文化芸術の振興による賑わい・活力の創出と心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。
- スポーツに親しみ、楽しむ機会や場所の提供に加え、スポーツを通じて様々な人が集い、活動し、つながりを感じることができる取組を進めることにより、スポーツへの参画人口及び交流人口を拡大させ、市民の生活の質とまちの活力の向上、一体感の醸成に繋げるとともに、市民のまちへの「愛着と誇り」を高めます。

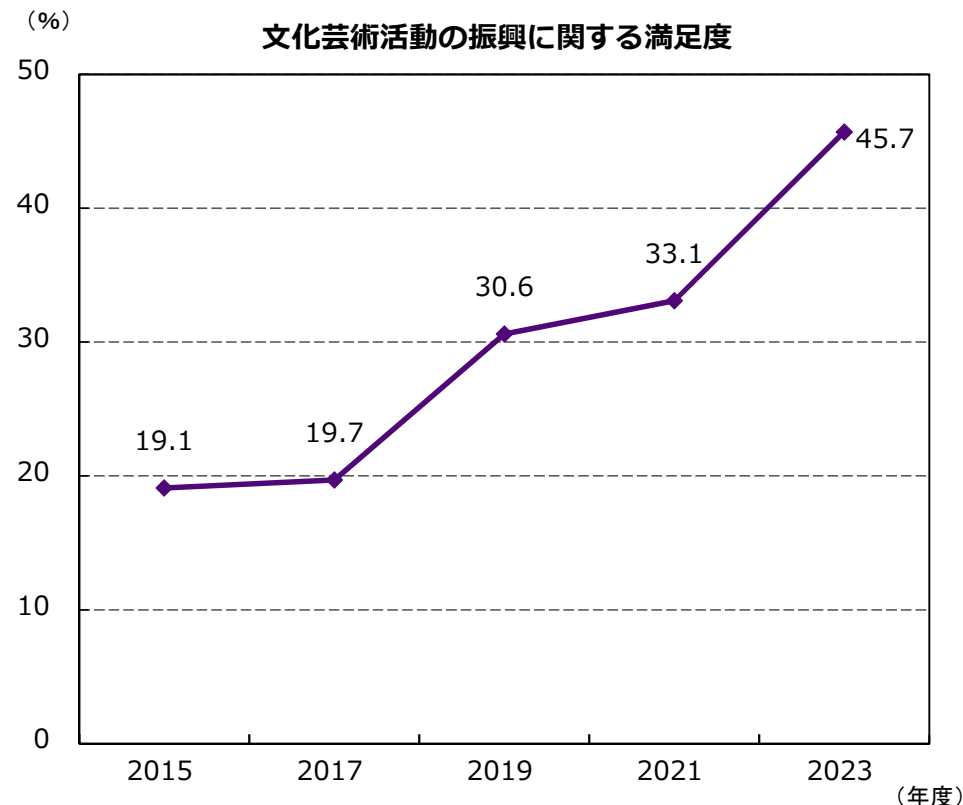
歴史・文化ゾーン来訪者数の推移



(資料) 各施設調べ

※夢二郷土美術館、岡山後楽園、岡山県立博物館、岡山城、林原美術館、岡山シンフォニーホール、岡山市立オリент美術館、岡山県立美術館、岡山県立図書館、岡山県天神山文化プラザ、ルネスホール、岡山市民会館、岡山芸術創造劇場ハレノワ
※岡山芸術創造劇場ハレノワは令和5年9月以降、岡山市民会館は令和6年3月末までの来訪者数

文化芸術活動の振興に関する満足度



資料：岡山市「市民意識調査」

基本方向

5 新たな価値と魅力を創造する心豊かなまちづくり（歴史・文化・スポーツ）

政策17 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信（歴史・文化）

施策① 歴史・文化遺産をいかしたまちの魅力の創造と発信

- ・岡山城西の丸周辺広場整備、歴史・文化ゾーン内施設の連携強化
- ・歴史・文化遺産の磨き上げや体験型コンテンツの造成・情報発信

施策② 歴史・文化遺産の活用と継承

- ・造山古墳・岡山城などの史跡の保存・整備と有効活用
- ・地域における歴史・文化遺産や郷土芸能の保存・継承

政策18 暮らしに息づく文化芸術の振興（文化芸術）

施策① 文化芸術施設を核にした文化芸術の振興

- ・市民活動の支援と多様で質の高い文化芸術の鑑賞機会の充実
- ・多様な文化芸術に触れ親しむ機会の提供による担い手の育成

施策② 市民の文化芸術活動等の推進

- ・「岡山芸術交流」「おかやまアーツフェスティバル」等の開催
- ・文学を通じた国際的な交流の促進と認知度向上・プレゼンスの強化

政策19 地域の活力を育むスポーツの振興（スポーツ）

施策① スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成

- ・おかやまマラソン等の大規模大会の開催・誘致
- ・トップチーム等を「魅せる」アリーナの整備

施策② トップアスリートとの交流等による地域振興と競技力の向上

- ・キャンプ誘致補助制度の活用によるトップアスリートとの交流促進
- ・各競技団体との連携促進

施策③ ライフステージ等に応じたスポーツの振興

- ・部活動の地域展開の推進
- ・障害者スポーツに係る啓発

施策④ 多様な市民ニーズに対応したスポーツ環境の整備

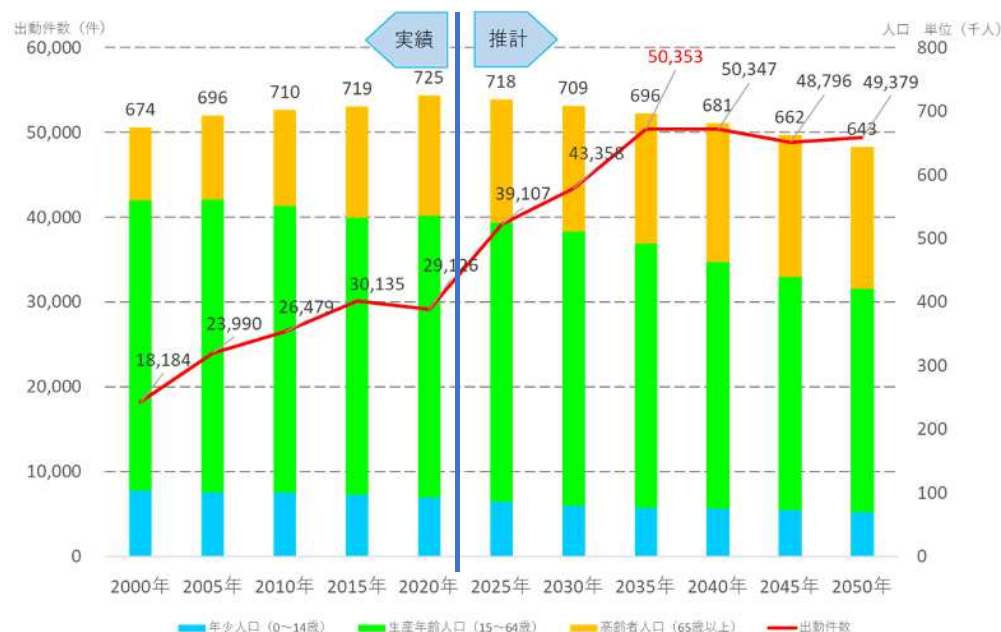
- ・スポーツ施設の計画的な整備・修繕
- ・トップチーム等を「魅せる」アリーナの整備（再掲）

基本方向

6 災害に強く、地域で支えあう安全・安心なまちづくり（安全・安心）

- 市民の安全・安心を守り、災害による被害を最小限にとどめるため、平成30年7月豪雨の教訓を踏まえたハード・ソフト両面からの総合的な浸水対策を進めるとともに、用水路への転落防止対策や道路施設等の長寿命化・耐震補強など都市のインフラやライフラインの強靱化対策を推進します。
- 地域の防災力を強化するため、市民一人ひとりの防災意識を向上させるとともに、自主防災組織の活動活発化など共助の対応力を高める取組を促進します。また、大規模・多様化する災害や増加する救急需要に迅速・的確に対応できるよう、消防署所と教育訓練施設の機能強化や救急需要対策と救急業務の高度化などを通じて消防救急体制を充実・強化します。
- 暮らしを脅かす様々な被害から市民を守り、安全・安心な市民生活を確保していくため、地域防犯力の強化や交通安全対策、消費者教育を多様な主体と連携・協働しながら推進します。

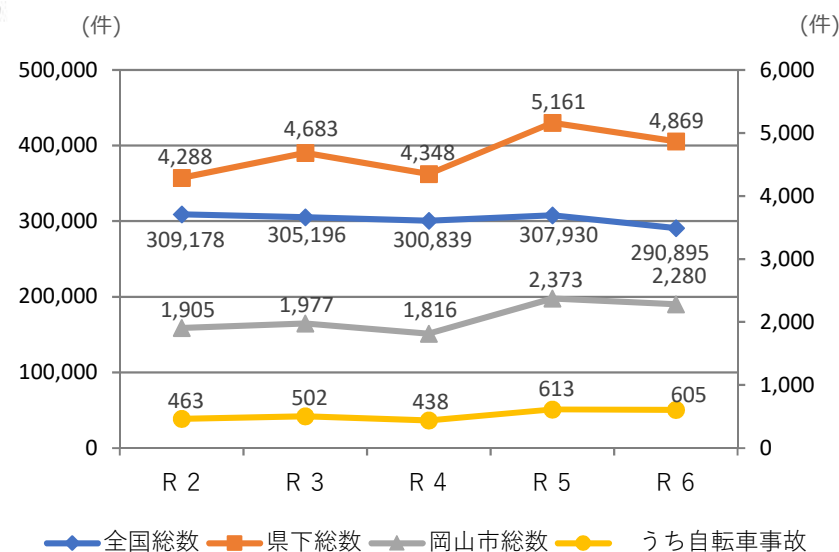
岡山市の将来人口と救急出動の将来推計



2025年以降の救急出動は「令和6年度救急業務のあり方検討会報告書（総務省消防庁）」による岡山市試算結果（推計値）

（資料）総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」、岡山市

交通事故のうち人身事故件数



（資料）岡山県警察本部

基本方向

6 災害に強く、地域で支えあう安全・安心なまちづくり（安全・安心）

政策20 災害に強く安全・安心な都市基盤の整備（防災・減災）

施策① 総合的な浸水対策の推進	・ポンプ場、雨水幹線等の施設整備の推進 ・事前水位調整、ハザードマップ普及啓発等のソフト対策推進
施策② 身近な都市施設や建築物等の安全・安心の確保	・用水路への転落防止対策や道路施設の長寿命化・耐震補強 ・民間建築物や宅地の耐震化推進
施策③ ライフラインの強靱化	・上下水道管路の計画的な点検調査・改築更新 ・上下水道施設の耐震化

政策21 地域防災力の強化と消防救急体制の充実（地域防災）

施策① 地域防災力の強化	・自主防災組織による活動事例の紹介やメニュー化 ・住民参加による防災訓練の実施
施策② 消防救急体制の充実強化	・消防署所と教育訓練施設の機能強化 ・救急需要対策と救急業務の高度化

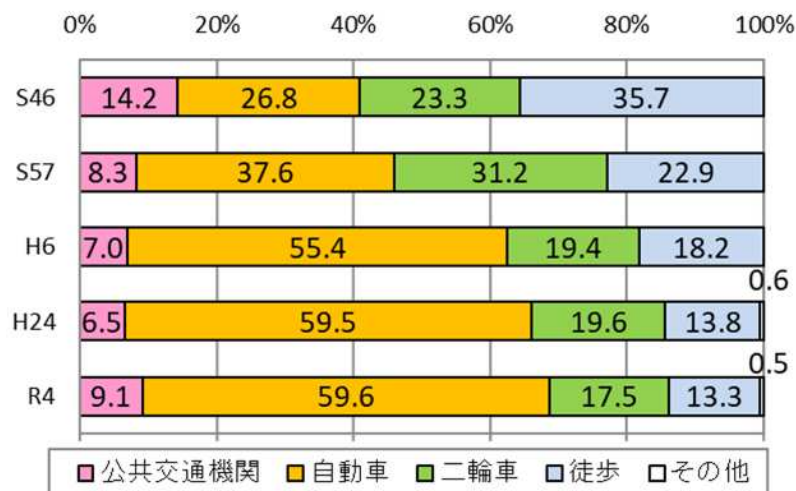
政策22 安全・安心な市民生活の確保（市民生活）

施策① 地域防犯力の強化と交通安全対策の推進	・防犯カメラ及び防犯灯の設置支援 ・交通安全に関する各種啓発
施策② 消費生活の安全・安心の確保	・学校と連携した消費者教育 ・消費者団体等との連携強化による消費者教育の担い手育成

基本方向 7 都市と自然が調和する、未来につなぐまちづくり（都市・環境）

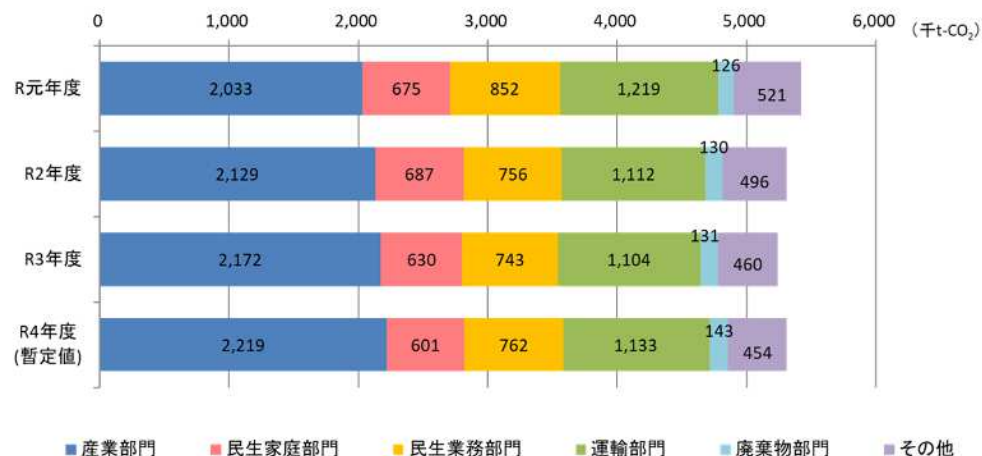
- 風格と憩いあるまちづくりの実現のため、街路樹の再生等による緑のボリュームアップや市民・事業者の緑化の推進に計画的に取り組むとともに、西川、旭川等の水辺空間をいかした賑わいの創出や門前町や陣屋町等の歴史的まちなみの保存など、各地域にある多様で個性ある景観資源の改善・活用を進めます。
- 人口減少や高齢化が一層進行する中であっても、市民の暮らしを支える拠点の形成や公共交通ネットワークの充実を通じて、市民生活の質と都市の活力の維持・向上を図るとともに、適正な土地利用の誘導により持続可能な都市づくりを進めます。また、増加する空き家への対策など安心して良好な住環境づくりを進めます。
- 誰もが安全で快適に移動できる交通環境を確保するため、公共交通を中心とする利便性の高い持続可能な交通ネットワーク構築します。また、買物、通院等の日常生活機能を担う身近な拠点へのアクセス性の向上を図りながら、徒歩、自転車、公共交通を中心とした、人と環境にやさしいライフスタイルを醸成します。
- 多様で豊かな自然環境を次世代に継承していくため、環境負荷低減への取組に加え、野生生物の生息・生育環境の保全・回復に取り組むとともに、保全活動の担い手の確保・育成を支援し、人と自然が共生した社会の実現を目指します。
- 2050年温室効果ガス排出量実質ゼロの達成に向け、市民、事業者、行政が一丸となり排出量削減に向けた脱炭素化を一層加速させていくため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化等の取組を推進します。
- 循環型社会の構築に向けて、徹底したごみの減量化・資源化を進めます。また、処理施設の整備による安定的なごみ処理体制を確保します。

交通分担率の推移



資料：R4岡山県パーソナル調査

温室効果ガス排出量の推移



(注1) 民生業務部門とは、事務所・オフィスビル、ホテル・旅館、卸・小売業、飲食店、学校、病院等で消費したエネルギーを計上する部門。
 (注2) その他は、「メタン」「一酸化二窒素」「代替フロン等4ガス」の合計。
 (注3) エネルギー転換部門については、全体に占める割合が小さいため、製造業に含めて計上している。
 (注4) 「R4年度(暫定値)」は、推計のベースとなる資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」が暫定値であるため。
 (資料) 岡山市担当課推計

基本方向 7 都市と自然が調和する、未来につなぐまちづくり（都市・環境）

政策23 みどり豊かで風格あるまちづくり（みどり・景観）

- | | |
|--------------------|--|
| 施策① 緑と水の豊かな空間づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・緑のボリュームアップ（街路樹再生プログラム） ・国と連携した旭川の周遊性・親水性の向上（旭川かわまちづくり） |
| 施策② 美しく風格あるまちなみづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市景観の形成 |

政策24 快適で暮らしやすい都市づくり（都市・住環境）

- | | |
|----------------------------|---|
| 施策① 活力と暮らしを支える持続可能な土地利用の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用の適正誘導 |
| 施策② 快適で暮らしやすい住環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策 ・市営住宅の再生や長寿命化 |

政策25 人とまちを元気にする交通ネットワークの構築（交通）

- | | |
|------------------------------|---|
| 施策① 公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な公共交通体系の構築 ・鉄道、バス、タクシーの利便性向上 |
| 施策② 地域における生活交通の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシー等の新たな生活交通の確保 ・コミュニティバス等の生活交通の維持・改善 |
| 施策③ 自転車先進都市の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルの充実 ・安全で快適な自転車通行空間の形成と自転車ルール遵守・マナー向上 |
| 施策④ 道路ネットワークの充実・強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・中環状線・外環状線や幹線道路の整備 ・生活道路の整備 |

基本方向 7 都市と自然が調和する、未来につなぐまちづくり（都市・環境）

政策26 人と自然が豊かに共生できる環境づくり（自然・生活環境）

施策① 生物多様性の保全と環境との共生

- ・生物の多様性の増進を図る活動の支援
- ・多様な主体が開催する自然体験プログラムに対する支援

施策② 環境負荷低減への取組

- ・大気汚染、水質汚濁の常時監視の継続的な実施
- ・有害物質の飛散・拡散の未然防止、法令遵守意識の向上の推進

施策③ 環境学習・環境活動の推進

- ・多様な主体と連携した環境学習・環境活動の推進

施策④ 市民、事業者との協働による美しく快適なまちづくり

- ・美化推進重点区域等の巡回指導や広報・啓発活動の実施
- ・一斉清掃等の美化イベントの実施や地域での美化活動への支援

政策27 脱炭素社会をめざす環境にやさしいまちづくり（脱炭素）

施策① 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進

- ・市民・事業者に対する脱炭素行動への支援
- ・市有施設への再エネルギー・省エネルギー設備の導入推進

施策② 環境にも人にもやさしいライフスタイルへの転換

- ・温暖化の防止に向けた市民等の行動変容を促す啓発活動の実施
- ・気候変動適応策についての情報提供及び取組への支援

政策28 みんなで進める循環型社会の構築（循環型社会）

施策① ごみの減量化とリサイクルの推進

- ・ごみ分別アプリ・出前講座等による周知啓発
- ・資源回収活動を行う団体への支援や生ごみ削減活動の促進

施策② 廃棄物の適正処理の推進

- ・老朽化したごみ処理施設の設備の改修や機能更新
- ・産業廃棄物の不適正処理の未然防止及び早期対応

施策③ 総合的な污水处理対策の推進

- ・効率的・効果的な下水道管きよの整備や処理場の統廃合
- ・合併処理浄化槽を設置する個人に対する補助金の交付

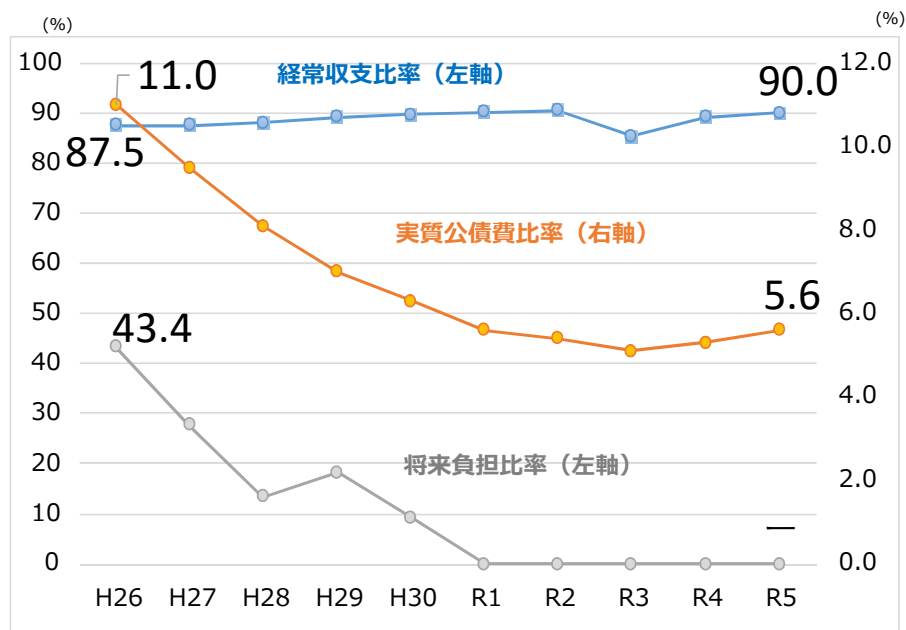
基本方向

8 圏域をリードし、まちの持続的发展を支える都市経営（都市経営）

○人口減少をはじめ社会経済情勢の変化や市民ニーズの多様化等により、行政需要のさらなる増加が見込まれる中、複雑・多様化し続ける行政課題に対し、限られた行政の経営資源を効果的・効率的に運用し、市民目線でスピード感を持って対応していくことが求められます。財政の健全性を確保しつつ、時代の変化に柔軟に対応する組織づくりや、デジタル技術の活用による市民の利便性の向上と業務の効率化、分かりやすい市政情報の発信等による信頼と共感を得られる市政運営等を通して、将来世代に責任を持ち、持続可能な行財政運営に努めます。

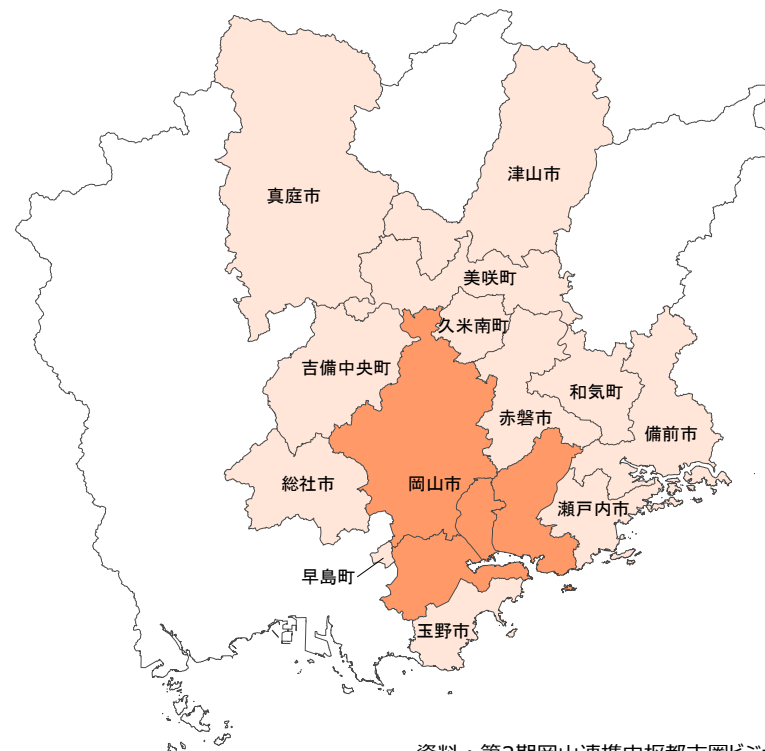
○圏域の中核拠点都市として、安心して働き暮らせる生活環境づくりや地域経済の活性化、関係人口をいかにした人材交流等に取り組むことにより、若者、女性をはじめ、あらゆる人に選ばれるまちの実現を目指します。また、連携中枢都市圏の枠組みをいかし、関係市町との有機的な連携を深化させ、圏域全体の発展を力強くリードしていきます。

財政指標の推移



資料：岡山市担当課調べ

岡山連携中枢都市圏 圏域図



資料：第2期岡山連携中枢都市圏ビジョン

基本方向

8 圏域をリードし、まちの持続的発展を支える都市経営（都市経営）

政策29 分権・人口減少社会を踏まえた行政の推進（地方創生、行政体制）

施策① 地方創生の推進	・ 地方創生に関する総合戦略に基づく取組の推進
施策② 圏域をリードする広域連携の推進	・ 連携中枢都市圏ビジョンに基づく取組の推進 ・ 瀬戸内4県都市の連携推進
施策③ 大都市制度の推進	・ 指定都市市長会を通じた取組の推進

政策30 将来世代に責任を持つ持続的な行財政運営（行財政運営）

施策① 健全で持続可能な財政運営	・ 経常的経費の見直しと有利な財源の活用
施策② 公共施設等の適正な管理と有効な活用	・ 公共施設の長寿命化やあり方・機能の検討 ・ 未利用地の売却や民間による利活用の促進
施策③ 時代の変化に柔軟に対応する組織づくり	・ 人材育成と成長支援を通じた職員の能力向上 ・ 職員のワークライフバランスの推進
施策④ 市民目線でのDXの推進	・ 市民サービスの向上 ・ 行政事務の効率化
施策⑤ 信頼と共感を得る市政運営	・ 「伝わる」市政情報の発信と広聴機能の充実 ・ 行政事務の適正性・公正性の確保